

Sport Academy

—— スポーツアカデミー ——

第 1 回

「スポーツ白書～スポーツが目指すべき未来～」を読み解く

第1章 日本人のスポーツ参加動向

2012年6月29日(金) 18:30～20:00

 **笹川スポーツ財団**
SASAKAWA SPORTS FOUNDATION

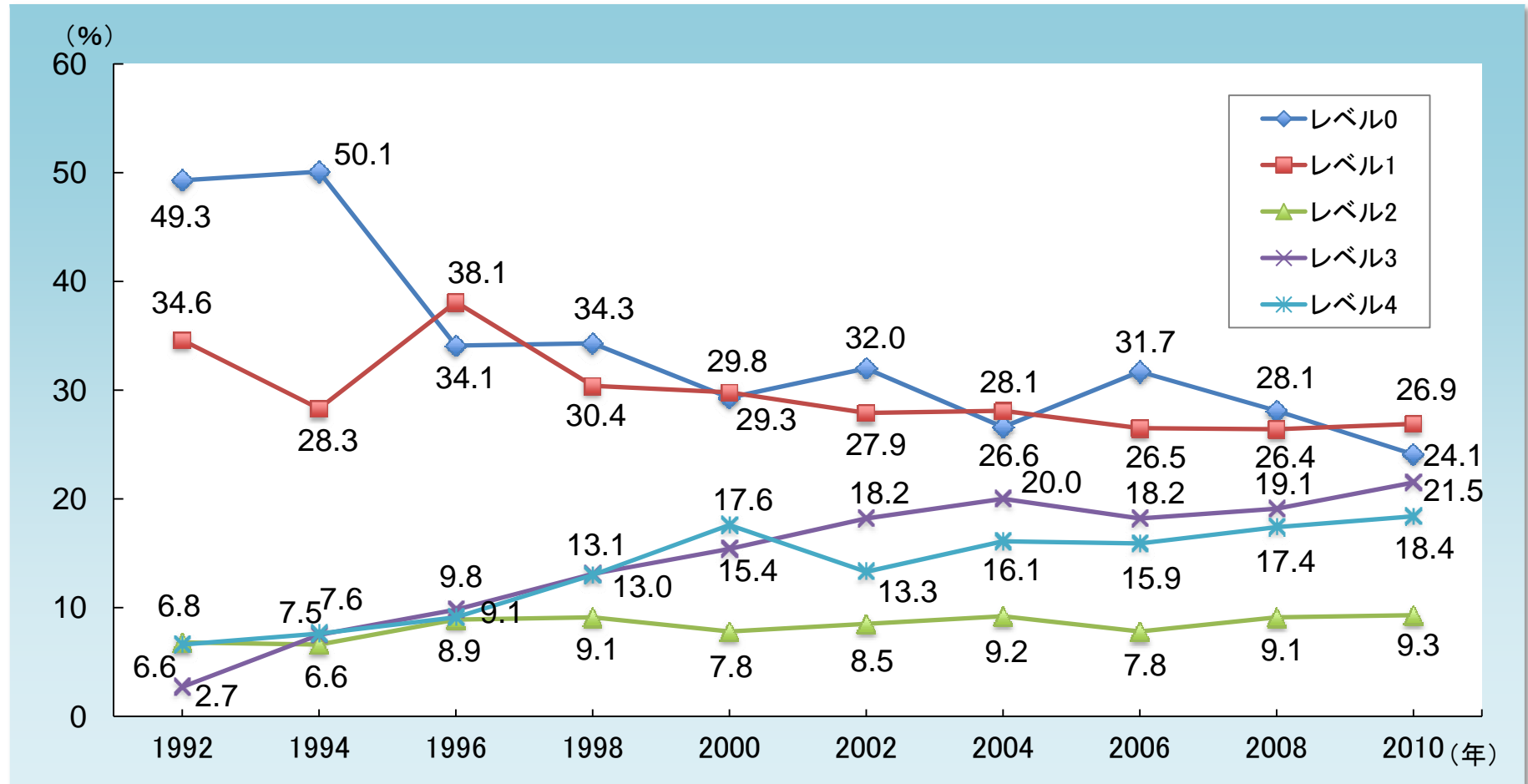


【表1-1】頻度、時間、強度による運動・スポーツ実施レベルの設定

レベル0	過去1年間にまったく運動・スポーツを実施しなかった
レベル1	年1回以上、週2回未満(1～103回/年)
レベル2	週2回以上(104回/年以上)
レベル3	週2回以上、1回30分以上
レベル4	週2回以上、1回30分以上、運動強度「ややきつい」以上

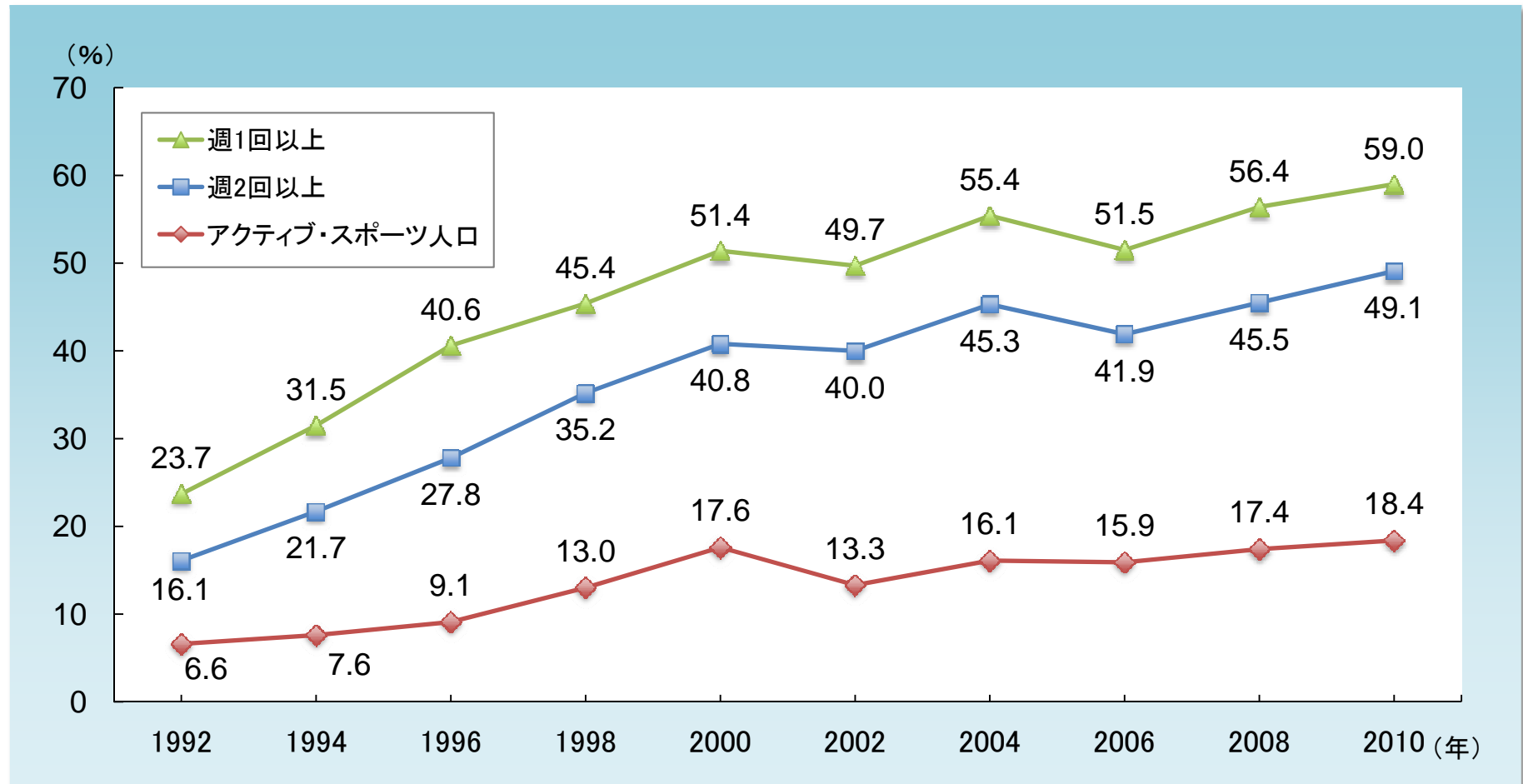
SSF「スポーツライフ・データ」(2010)

【図1-1】レベル別運動・スポーツ実施状況の推移



SSF「スポーツライフ・データ」(2010)より作成

【図1-2】 定期的な運動・スポーツ実施率の年次推移



SSF「スポーツライフ・データ」(2010)P.25より抜粋

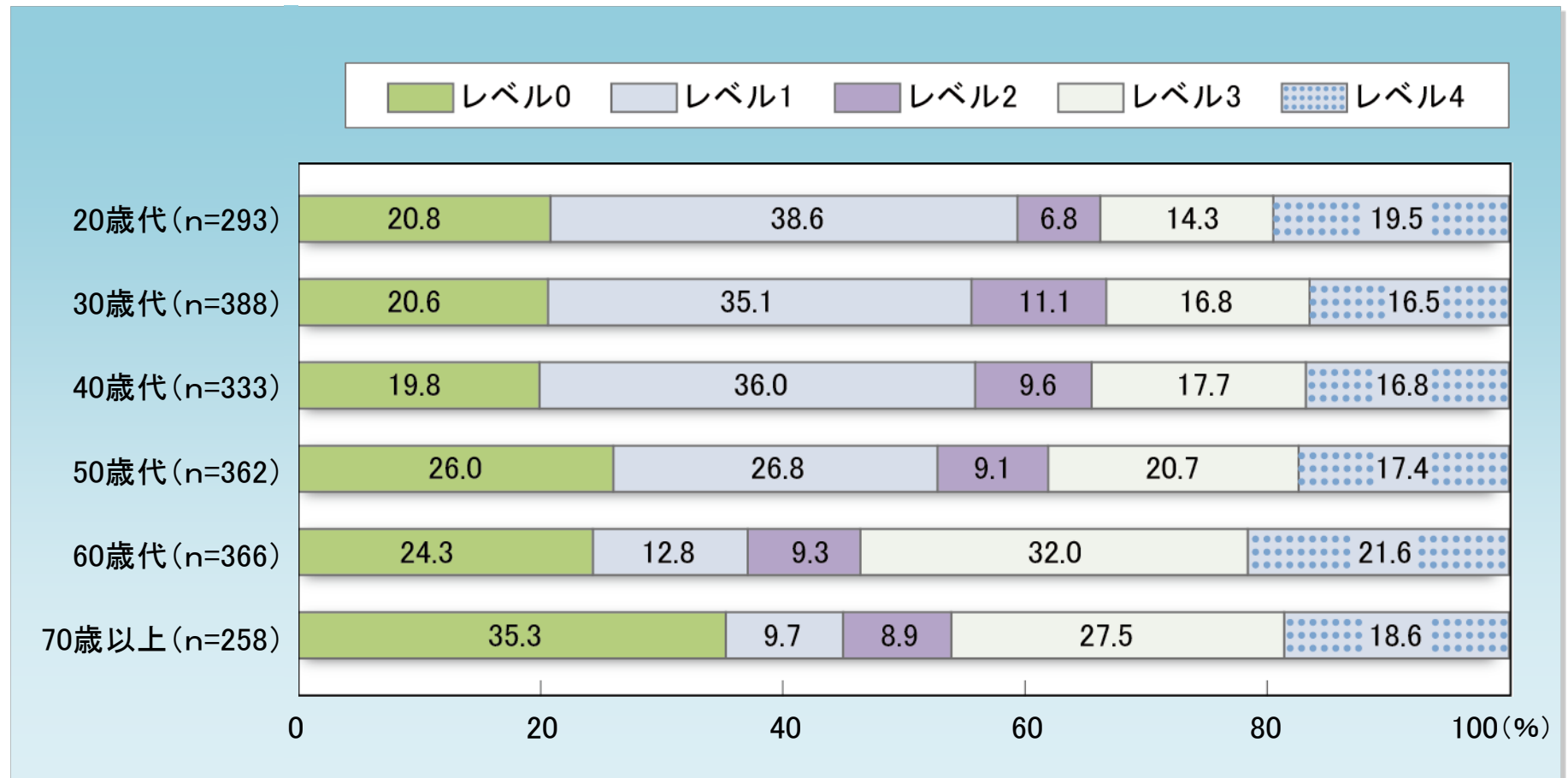
【表1-2】年代別運動・スポーツ実施状況の推移

(%)

年	実施レベル	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	全体
2000	レベル0	19.3	20.8	26.6	28.0	41.0	48.4	29.3
	レベル1	42.1	42.6	34.4	24.0	18.3	11.0	29.8
	レベル2	6.9	8.6	8.5	8.4	6.5	7.3	7.8
	レベル3	13.3	13.2	9.2	19.3	19.8	19.6	15.4
	レベル4	18.4	14.8	21.4	20.2	14.4	13.7	17.6
2010	レベル0	20.8	20.6	19.8	26.0	24.3	35.3	24.1
	レベル1	38.6	35.1	36.0	26.8	12.8	9.7	26.9
	レベル2	6.8	11.1	9.6	9.1	9.3	8.9	9.3
	レベル3	14.3	16.8	17.7	20.7	32.0	27.5	21.5
	レベル4	19.5	16.5	16.8	17.4	21.6	18.6	18.4

SSF「スポーツライフ・データ」(2000、2010)より作成

【図1-3】運動・スポーツ実施レベル(年代別)



SSF「スポーツライフ・データ」(2010)P.23より抜粋

【表1-3】種目別運動・スポーツ実施率の動向(上位10種目)

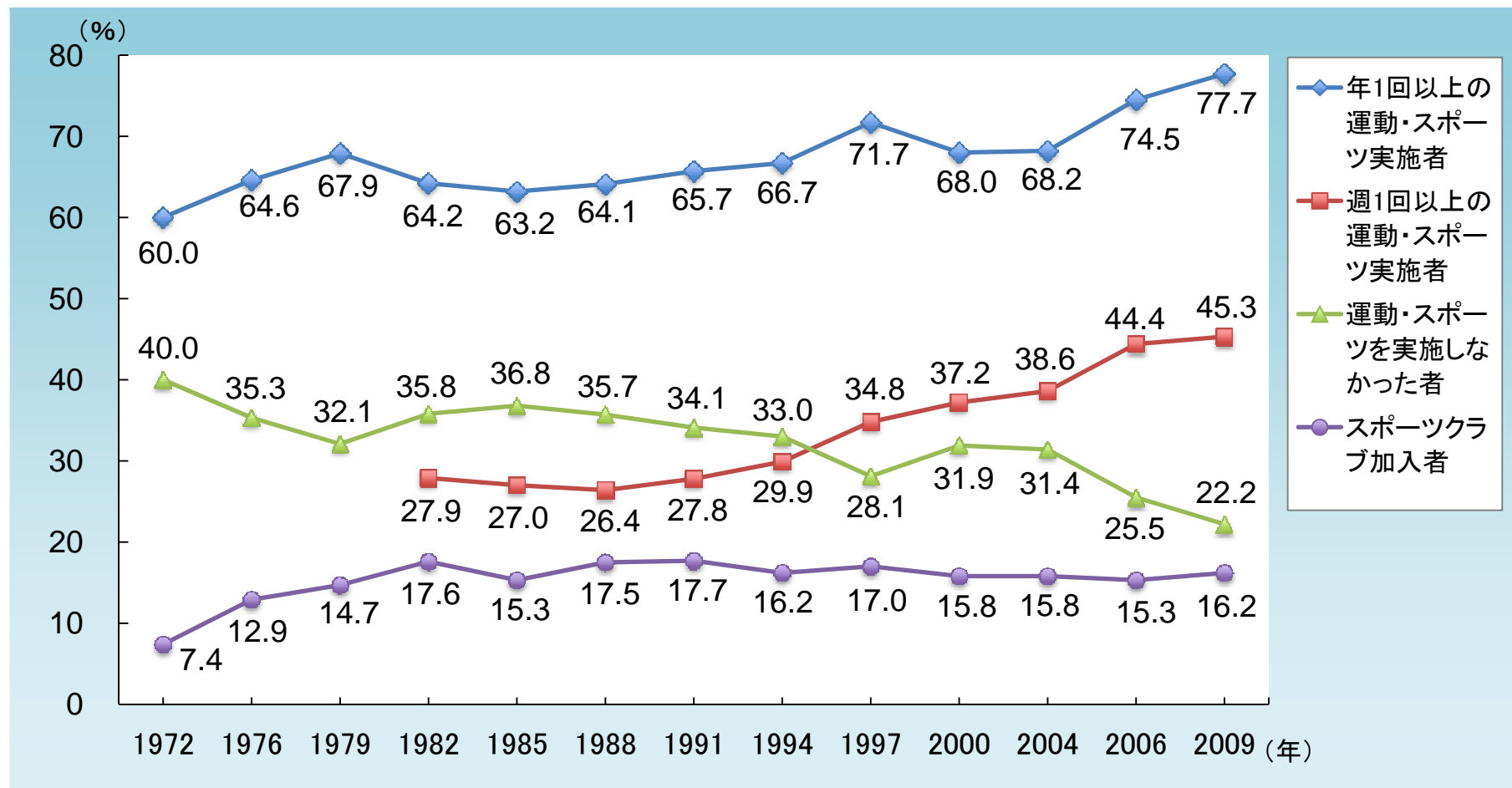
(%)

順位	2000年	2002年	2004年	2006年	2008年	2010年
1	ウォーキング・散歩 33.6	散歩(ぶらぶら歩き) 31.1	散歩(ぶらぶら歩き) 34.0	散歩(ぶらぶら歩き) 29.2	散歩(ぶらぶら歩き) 30.8	散歩(ぶらぶら歩き) 34.8
2	体操(軽い体操・ラジオ体操など) 19.7	ウォーキング 16.7	ウォーキング 21.6	ウォーキング 19.7	ウォーキング 22.4	ウォーキング 24.5
3	ボウリング	体操(軽い体操・ラジオ体操など) 16.2	体操(軽い体操・ラジオ体操など) 18.6	体操(軽い体操・ラジオ体操など) 16.1	体操(軽い体操・ラジオ体操など) 17.5	体操(軽い体操・ラジオ体操など) 18.5
4	水泳 12.0	ボウリング 14.7	ボウリング 16.4	ボウリング 14.8	ボウリング 15.1	ボウリング 13.3
5	釣り 11.9	水泳 9.2	筋カトレーニング 9.6	筋カトレーニング 8.4	筋カトレーニング 11.1	筋カトレーニング 11.5
6	海水浴 11.2	釣り 8.6	釣り	ゴルフ(コース) 8.1	水泳 9.0	ゴルフ(コース) 9.0
7	ゴルフ(コース) 11.0	筋カトレーニング 8.5	海水浴 9.5	水泳 7.5	海水浴 8.9	ジョギング・ランニング 8.5
8	ゴルフ(練習場) 10.4	ゴルフ(コース)	水泳 9.3	ゴルフ(練習場) 7.2	ゴルフ(コース) 8.7	釣り
9	ハイキング 8.8	海水浴 8.3	ゴルフ(コース) 9.2	海水浴 6.9	キャッチボール 8.0	ゴルフ(練習場) 8.2
10	スキー 8.5	ゴルフ(練習場) 8.0	ゴルフ(練習場) 8.1	キャッチボール 6.8	サイクリング 7.9	キャッチボール 8.1

年1回以上の実施率。

SSF「スポーツライフ・データ」(2000～2010)より作成

【図1-4】運動・スポーツ実施率の推移(20歳以上)



内閣府(旧総理府)「体力・スポーツに関する世論調査」(1972～2009)より作成

【表1-4】 障害者が参加しているスポーツ活動

参加活動	割合 (%)
卓球	12.6
水泳	12.4
陸上競技	8.6
ゲートボール	6.6
踊り	3.9
野球	3.7
車椅子バスケットボール	2.0
アーチェリー	1.6
車いすテニス	1.5
柔道	0.8
車いすフェンシング	0.1

スポーツ・文化芸術活動に「参加している」と回答した1,038人を母集団とした割合
内閣府「障害者施策総合調査『生活支援』、『保健・医療』に関する調査報告書」(2008)より作成

【表1-5】運動・スポーツ実施種目の国際比較

順位	日本	イングランド	フランス	オーストラリア	韓国
1	散歩(ぶらぶら歩き) (34.8%)	ウォーキング (適度の強度、30分) (22.0%)	自転車 (38%)	ウォーキング (36.1%)	ウォーキング (29.9%)
2	ウォーキング (24.5%)	水泳 (13.4%)	水泳、ダイビング (30%)	エアロビクス/ フィットネス (22.9%)	筋力トレーニング (ジム) (14.2%)
3	体操 (軽い体操・ラジオ体操など) (18.5%)	ジム (10.7%)	ウォーキング、ハイキング、 トレッキング (22%)	水泳 (14.1%)	登山* (13.6%)
4	ボウリング (13.3%)	サイクリング (適度の強度、30分) (8.5%)	ペタンク、ビリヤード (22%)	サイクリング (11.1%)	サッカー (8.6%)
5	筋力トレーニング (11.5%)	サッカー (7.6%)	ジョギング・ランニング、 陸上競技 (17%)	ランニング (11.0%)	バドミントン (5.6%)
実施条件	過去1年間で1回以上	過去4週間で1回以上		過去12カ月で1回以上	—
対象年齢 (調査年)	20歳以上 (2010)	16歳以上 (2007)	15歳以上 (2003)	15歳以上 (2009)	10歳以上 (2008)

* ハイキングや山歩きも含まれると推測される。

SSF、スポーツイングランド、フランス国立統計経済研究所、オーストラリア・スポーツコミッション、韓国文化体育観光部資料(2010)より作成

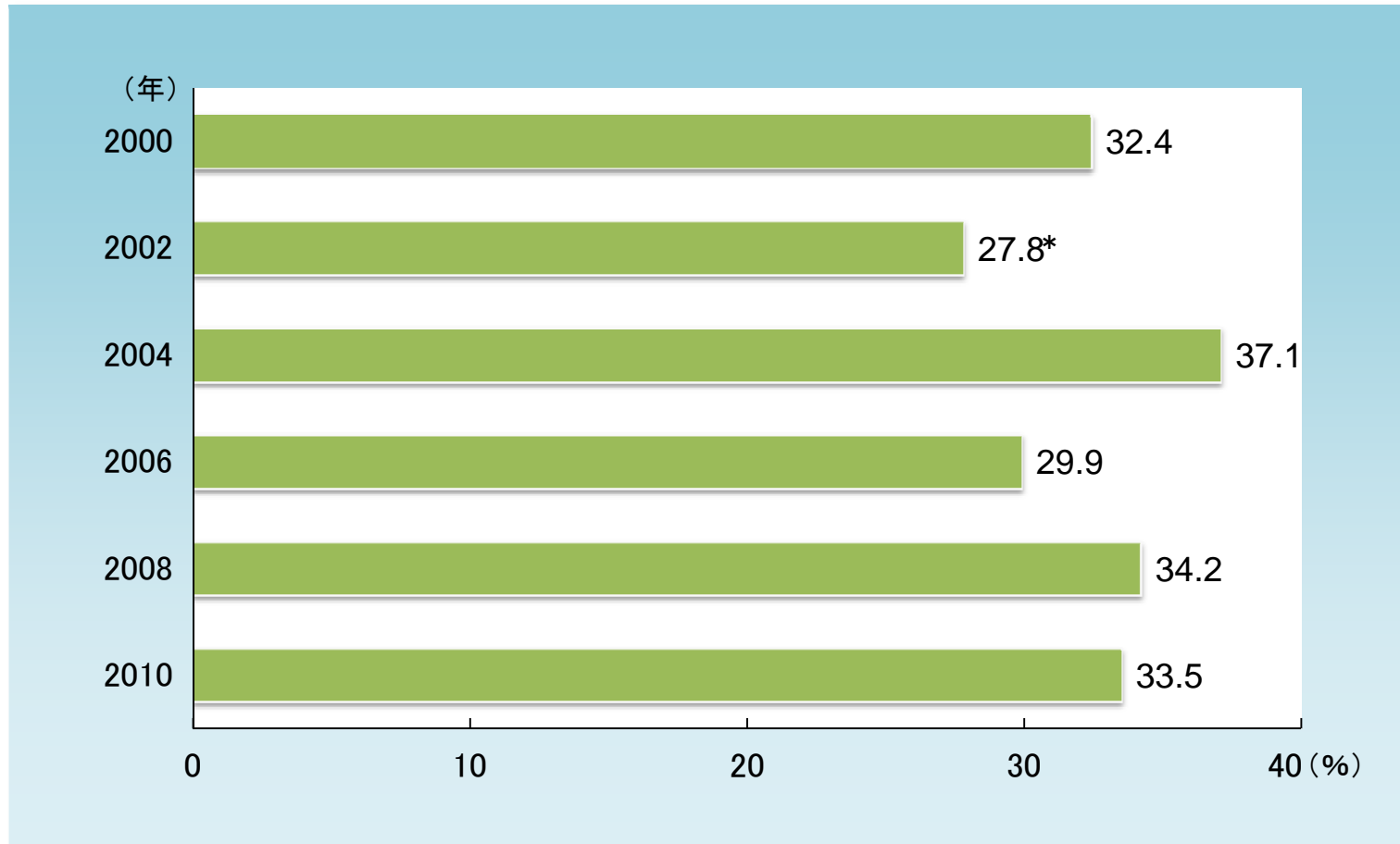
【表1-6】スポーツの種目別登録人口と推計実施人口

種目	登録者数(人)[チーム数]			実施率(%)		推計実施人口(万人)	種目	登録者数(人)[チーム数]			実施率(%)		推計実施人口(万人)
	全体	男	女	10代	成人			全体	男	女	10代	成人	
ウォーキング	-	-	-	17.9	24.5	2,761	テニス(硬式テニス)	-	-	-	6.9	3.8	478
ボウリング	48,000	36,000	12,000	19.2	13.3	1,614	ソフトボール	[10,670]	[6,081]	[4,589]	9.3	3.3	456
水泳	120,177 [5,701]	-	-	21.0	7.2	1,003	グラウンドゴルフ	194,575	115,312	75,261	0.1	3.3	344
バドミントン	240,613	-	-	22.8	6.8	983	ソフトバレー	20,094	-	-	5.1	2.2	290
ゴルフ	5,071	3,743	1,328	2.6	9.0	966	フットサル	123,968	-	-	5.5	2.0	274
サッカー	888,916 [28,818]	852,233 [27,594]	36,683 [1,224]	26.4	4.6	798	アイススケート(スケート)	6,575	-	-	3.7	1.9	242
野球	[68,748]	-	-	22.3	4.5	738	綱引	2,397	1,810	587	4.3	1.8	239
卓球	300,096	187,474	112,622	18.4	4.5	691	エアロビックダンス	2,481	536	1,945	1.3	2.1	234
登山	800	-	-	5.1	4.9	571	ソフトテニス	461,508	233,193	228,315	9.8	1.0	223
バレーボール	429,830	120,894	308,936	18.3	3.2	554	陸上競技	261,265	174,744	84,638	11.0	0.6	196
スキー	11,735	8,730	3,005	9.7	4.1	543	フライングディスク	3,105	2,033	1,072	2.9	1.0	139
バスケットボール	616,839	-	-	26.3	2.0	527	太極拳	-	-	-	0.0	1.0	104
							剣道	-	-	-	3.0	0.4	78

注1 推計実施人口(10歳以上、年1回以上実施者)の多い順に表示。 注2 推計実施人口は以下①、②の合計による。①成人人口の103,824,525人(2009年3月31日現在の住民基本台帳より)に、2010年調査の実施率を乗じて算出。②10代人口の12,143,089人(2008年3月31日現在の住民基本台帳より)に、2009年調査の実施率を乗じて算出。 注3 野球は以下の統轄団体の登録チーム数の合計。日本野球連盟、全日本大学野球連盟、日本高等学校野球連盟、全日本リトル野球協会、日本少年野球連盟、全日本少年硬式野球連盟、日本ポニーベースボール協会、日本女子野球協会、全国高等学校女子硬式野球連盟、全日本軟式野球連盟、全日本大学軟式野球連盟、全日本大学準硬式野球連盟、全国専門学校野球連盟、日本中学校体育連盟、全日本還暦野球連盟、全日本女子軟式野球連盟、全日本大学女子野球連盟、日本体育協会 注4 バレーボールにはソフトバレーを含まない。 注5 サッカーにはフットサルを含まない。

SSF「中央競技団体現況調査」、「スポーツライフ・データ」、「青少年のスポーツライフ・データ」(2010)より作成

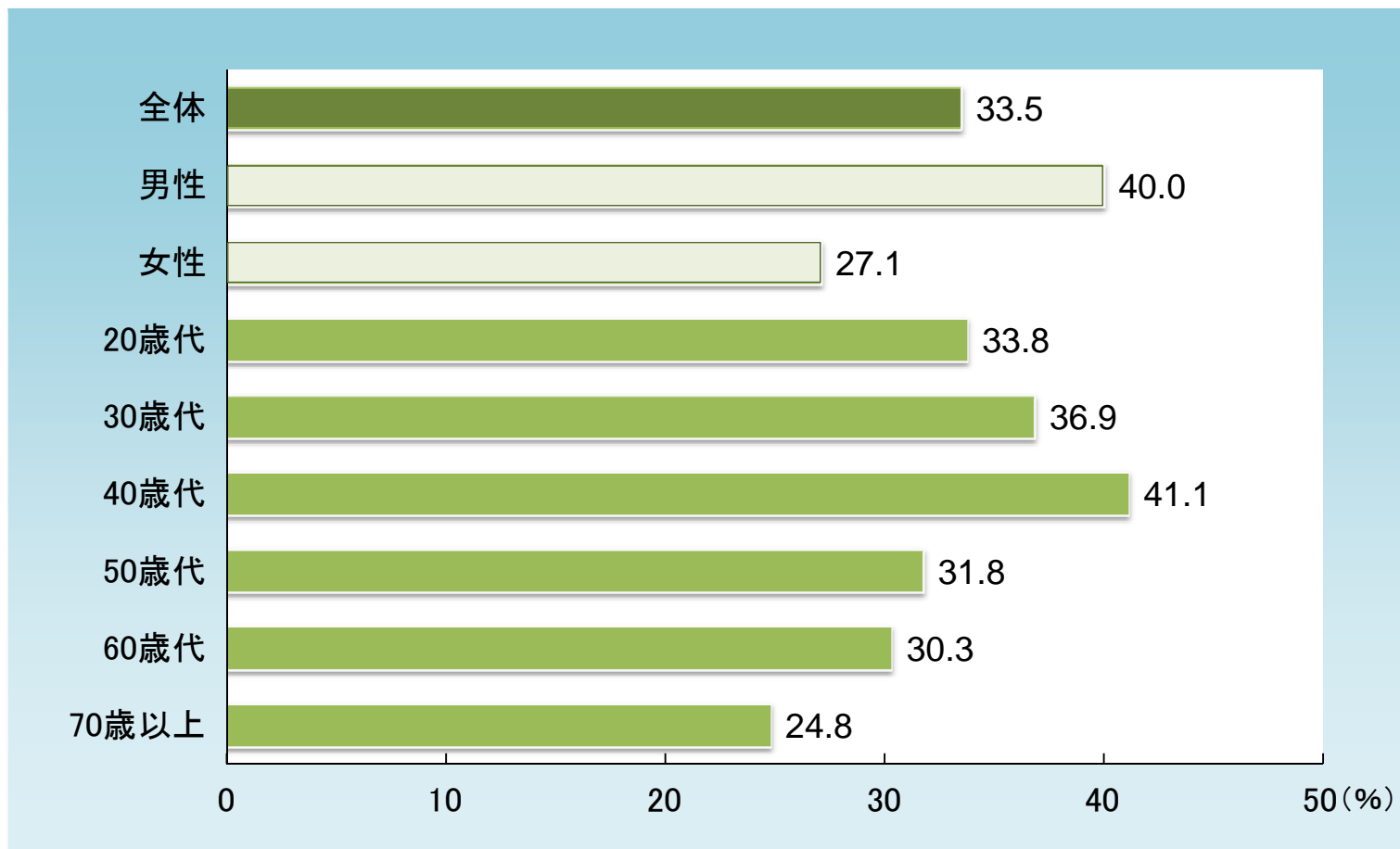
【図1-5】成人の直接スポーツ観戦率の推移



* 2002年調査の回答選択肢には公営競技が含まれていない。

SSF「スポーツライフ・データ」(2010)

【図1-6】成人の直接スポーツ観戦率(性別・年代別)



SSF「スポーツライフ・データ」(2010)

【表1-7】種目別直接スポーツ観戦率(複数回答)

順位	観戦種目	観戦率(%)
1	プロ野球	16.2
2	野球(プロ野球以外)	6.4
3	Jリーグ	4.4
4	マラソン・駅伝	4.2
5	サッカー(プロサッカー以外)	3.3
6	プロゴルフ	2.2
7	バレーボール	2.0
8	競馬	1.5
	陸上競技	
10	大相撲	1.3

SSF「スポーツライフ・データ」(2010)より作成

【表1-8】プロスポーツの観客動員数

(人)

種 目	2004年	2009年	増減率 (%)
野球	24,454,000	22,881,088	-6.4
サッカー(Jリーグ)	7,175,965	9,619,689	34.1
女子ゴルフ(ツアーのみ)	338,152	604,994	78.9
相撲	571,048	601,325	5.3
男子ゴルフJGTO	447,705	591,564	32.1
男子ゴルフPGA(シニアのみ)	48,900	40,534	-17.1
ボクシング	423,200	348,837	-17.6
フォーミュラカーレース	300,100	176,064	-41.3
ボウリング	60,000	100,000	66.7
ダンス	120,000	60,000	-50.0
キックボクシング	31,705	31,705	0.0
ボートレース	20,231,695	14,947,241	-26.1
中央競馬	8,099,985	7,316,360	-9.7
競輪	11,173,975	6,478,755	-42.0
地方競馬	6,335,210	4,558,647	-28.0
オートレース	3,571,846	2,111,270	-40.9
合 計	83,383,486	70,468,073	-15.5

注1 日本プロスポーツ協会加盟団体の年間観客動員数。

注2 JGTOは(社)日本ゴルフツアー機構、PGAは(社)日本プロゴルフ協会。

日本プロスポーツ協会「プロスポーツ年鑑」(2005、2010)より作成